

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
現代文B	3 (5単位を 分割履修)	3年・普通科 スタンダード標準		改訂版 現代文B (第一学習社)	新常用漢字必携 パーフェクトクリア (尚文出版)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者によって表現された社会における概念や人々の心の在り様について、文法や語義に従って正確に理解する。 ・筆者の考えに対し、自らの考えや体験を照らしながら批判的に考え、自らの考えを言語化できるようにする。 ・上記の解釈を通じて、自己を含めた社会の諸現象への理解を深め、言語としての国語への関心を高める。
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次よりも抽象度の高い評論文の学習を通じて、論理的な文章展開を理解し、読解する。 ・随想、小説を中心に近現代の様々な文章を読み、人の心情や思考を読み取り、文学作品を味わう。 ・漢字や語句の基礎知識を学び、演習を行う。 ・正確な意味の理解に基づき、自分の考えを述べる。
評価の 観点・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」国語で理解し、表現する力を進んで高め、国語を尊重し言語感覚の向上を図ろうとする。 ・「話す・聞く能力」目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりすることで、自らの考えを深め発展させている。 ・「書く能力」必要な情報を用い、相手や目的、加地兄応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 ・「読む能力」近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ・「知識・理解」言語文化および言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物(授業中の作業に関わるもの中心)により、「関心・意欲・態度」の度合いを判断・評価する。 ・定期考査にて「読む能力」、「書く能力」の度合いを判断・評価する。 ・語彙力等確認小テストでは、「知識・理解」の度合いを判断・評価する。 ・発問に対する発言によ、グループワークでの発言により、「話す・聞く能力」を評価する。 ・総合的に「関心・意欲・態度」「読む力」「書く力」「話す・聞く力」「知識・理解」を評価する。

学期	内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・随想を読み、書き手の視点を的確にとらえ、その表現方法を理解する。 ・評論文を読み、書き手の考えやその展開の仕方を理解する。表面的な観察にとどまらず、深く問題を考察していく姿勢を身につける。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・小説を通じて人物・情景・心情などを的確にとらえるようにする。小説を読解する姿勢を学ぶ。 ・評論文を読むことにより、語句の意味・用法を的確に理解し、論理の展開や要旨をとらえるようにする。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の評論文を学習することにより、それぞれの筆者の論理の展開の仕方を理解する。 ・現代の社会と文化・学問との関わりについて問題意識を深める。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期で扱う作品よりも長い小説を読み、登場人物、構成、状況の描写を正確に読み取り、その展開や変化を考察する。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文を読み、文章の構成を理解し、論理的な展開を確認する。 ・論理を展開する上での修辞法の役割とその効果を理解する。 ・筆者の主張を身近な現象を通じて理解する。 ・筆者の考えを発展させて考察する。

<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none">・ 講座の特色・ 履修条件・ 注意事項 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 漢字や語彙に関する小テストを週に1度実施し、単元に応じて理解の度合いを確認するための演習を行う。・ 全員履修であり、予習や自主学習での語彙の拡充を必要とする。
---	--